

※三菱UFJ国際投信がお届けする、日本版ISAに関する情報を発信するコラムです。

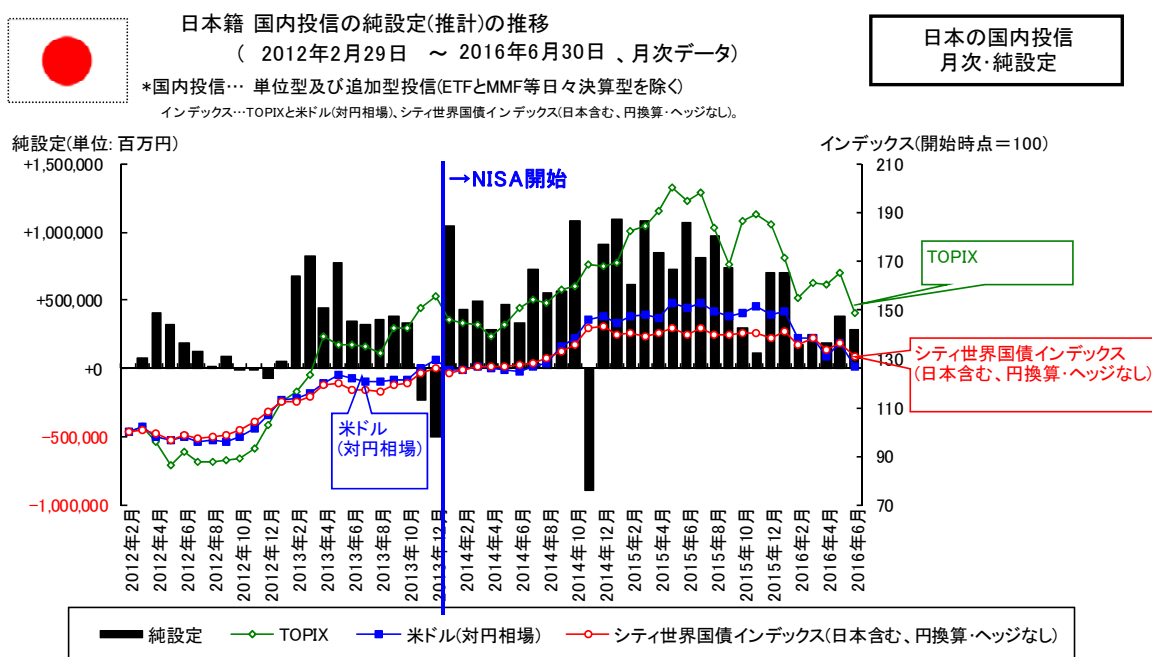
ブレグジット(英国の EU 離脱)ショックにおける NISA 投資は?

「ブレグジット/Brexit(英国の EU 離脱)ショック」、英国による欧州連合(EU)離脱決定(6月23日実施の国民投票)で株や為替が急落してから2週間が経過した。だが、引き続き金融市場は動揺している。

国民投票翌日6月24日(金)に前日比-8.05%の1英ポンド=1.3679ドルと急落した英ポンドは、7月7日に1英ポンド=1.2908ドルと1985年6月25日以来約31年ぶり安値を更新している。7月8日(金)は1.2954ドルと微反発。英国の混乱を受け、安全な逃避先としての需要が強まって6月24日に前日比-3.94円の102.22円と(*一時99.20円まで)急騰した円は、7月8日(金)に1ドル=100.54円と2013年11月20日以来約2年8か月ぶりの円高となっている。この円高等を嫌気、6月24日に前日比-7.92%の14952.02円と2014年10月21日以来1年9か月ぶり安値となった日経平均株価は、7月4日(月)にかけいったんは15775.80円と6月23日以来高値まで戻したものの、その後は4日続落、7月8日(金)には15106.98円と6月24日以来の安値に反落した。

既存投資家の人気は REIT に集中

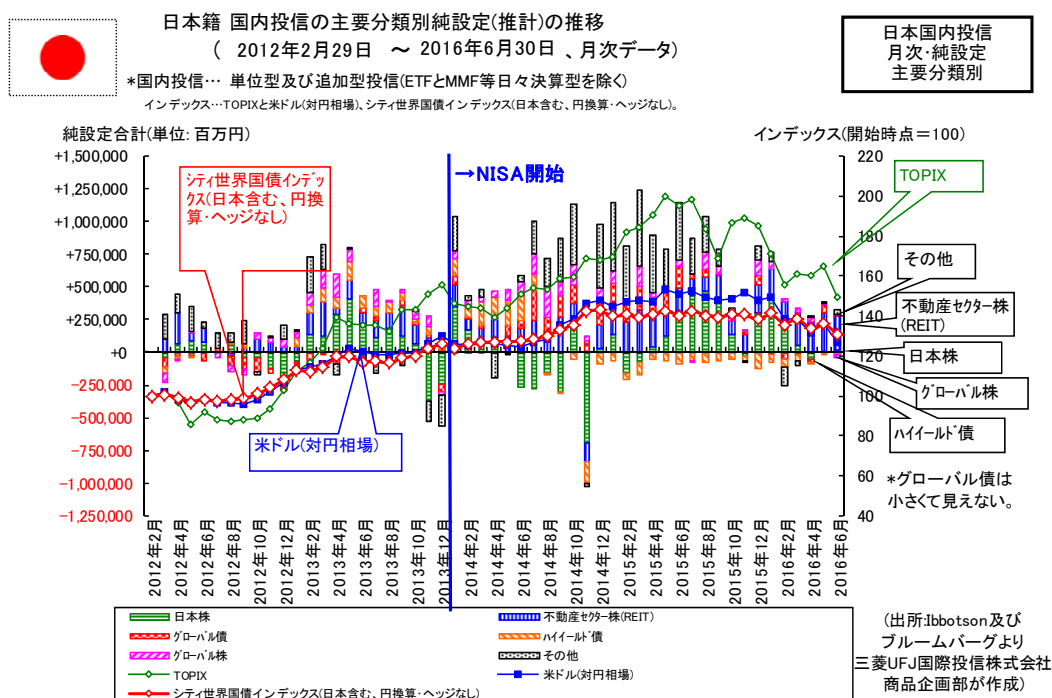
金融市場が混乱の続く中、6月はNISAの投資動向にどのような影響があっただろうか? 2016年6月末までのNISA最新投資動向を見る。投資家を既存投資家と投資の未経験者層(新規投資家)とに分け、既存投資家は投信全体の動向で代替し、投資の未経験者層(新規投資家)はNISA向けファンド(後述※2参照)で代替して見る。まず既存投資家を示す投信全体の純設定(推計)だが、2016年6月は+2886億円と、前月5月の+3801億円から若干減少するものの、19か月連続純流入だった。



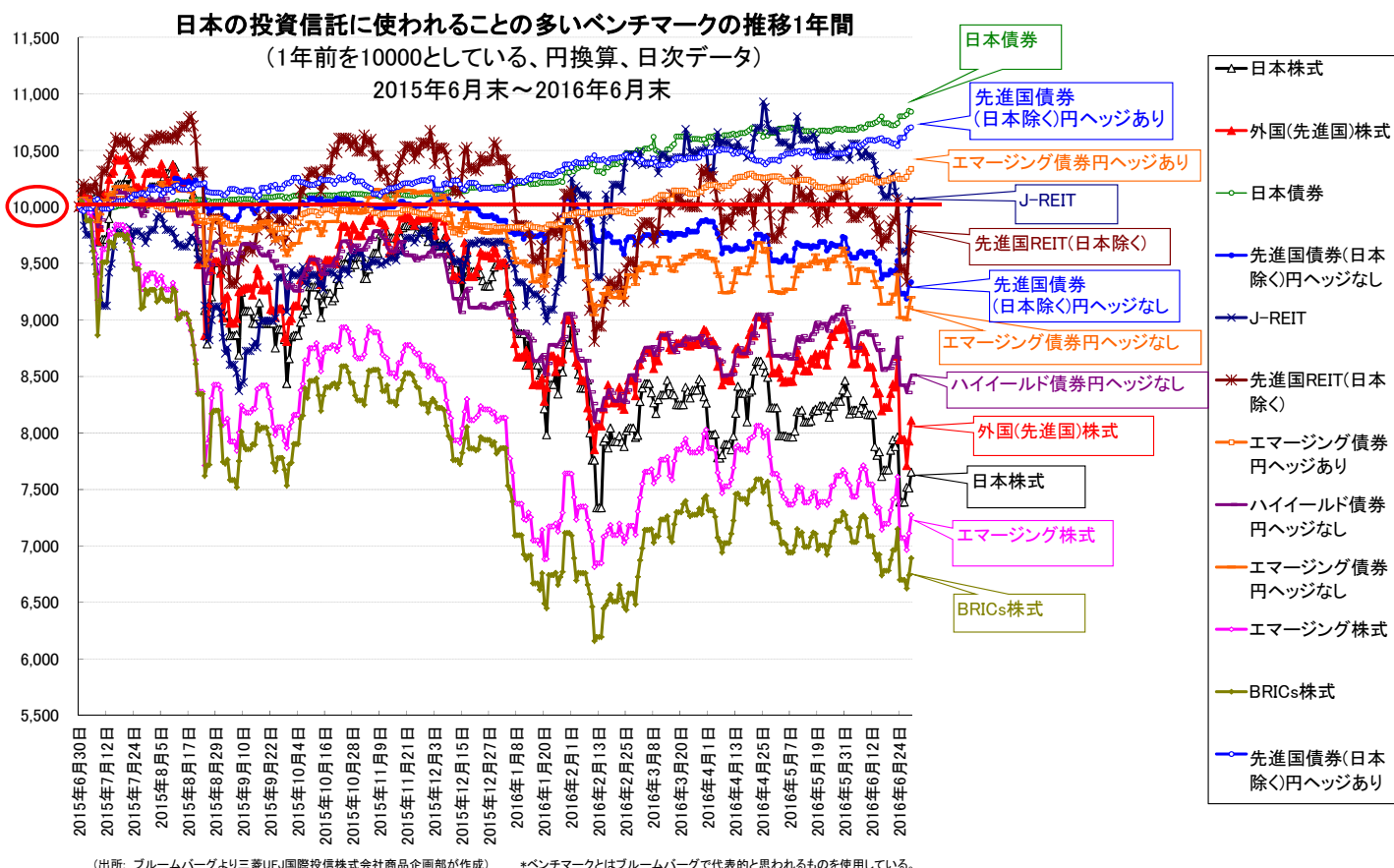
(出所:ブルームバーグ、Ibbotsonより三菱UFJ国際投信株式会社商品企画部が作成)

投資対象(主要分類)別で見る。下記グラフに示される通り、2016年6月に最も純設定の大きかったのは、前月に引き続き不動産セクター株(REIT)、次いでマルチオルタナティブ、アジア株(除く日本)、アセットアロケーション慎重型、日本株(*主要分類…モーニングスター分類で2015年12月末の純資産の大きい上位5分類)。最新6月の投信全体の純設定額(+2886億円)の9割を占めるのが、不動産セクター株(REIT)である。19カ月連続の資金純流入で、純流入1位は2016年4月から3カ月連続である。不動産セクター株(REIT)の純設定額は6月に+2610億円と、前月5月(+2950億円)よりは減ったものの、直近1年間では5月に次いで2番目の大きさである。2016年の上半期(1~6月)の純設定額でみると、投信全体が+2兆円と、前年同期(2015年1~6月)の+5.4兆円から半分以下へ大幅減となる中、不動産セクター株(REIT)は、2016年(1~6月)に+1.5兆円と、前年同期(2015年1~6月)の+1.4兆円から資金純流入が小幅だが増えている。

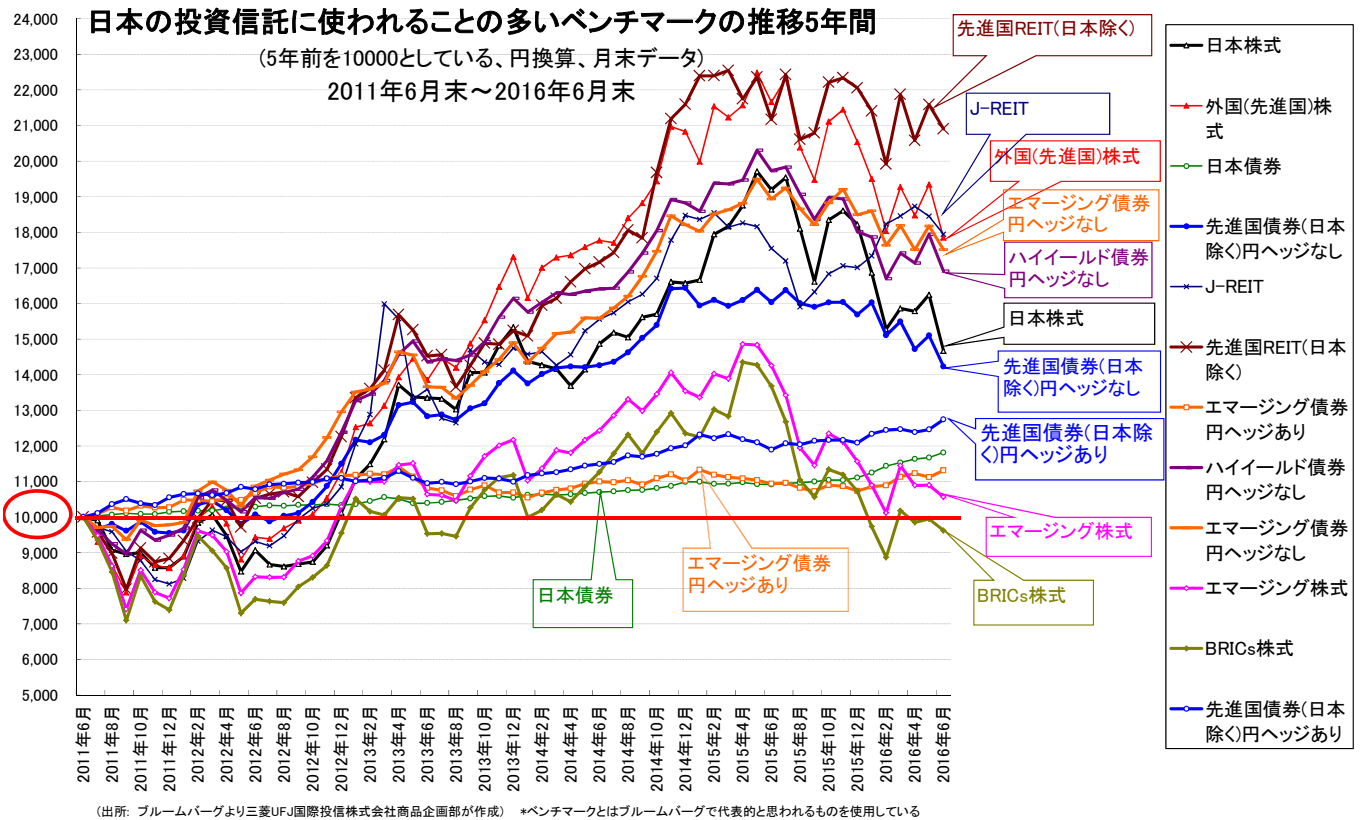
REITは「預金金利の低迷が続くなか、(株式の配当に相当する)REITの分配金利回りの高さを好感する投資家が多い」(6月6日付日本経済新聞~URLは後述[参考ホームページ])と言われる。ただ一方で、「英国のオフィスや住宅といった不動産を投資対象とする不動産投資信託(REIT)の指数は英国民投票後に一時、2割超の下落を記録した。欧州連合(EU)離脱で英国の『国際金融センター』としての地位が揺らぎ、金融機関のオフィス需要が落ち込むなど不動産市況に悪影響が及ぶとの懸念が広がったためだ。…(略)…。一方、米国や日本などのREITは堅調に推移している。」(7月1日付日本経済新聞朝刊~URLは後述[参考ホームページ])、「英国の商業用不動産ファンドが、過去24時間に相次いで解約を停止した。市場では同セクターや関連銘柄への売りが膨らむなど、不動産価格下落への警戒感が強まっており、欧州連合(EU)離脱決定を受けた市況悪化の兆しが出ている。…(略)…。規模は3ファンドで100億ポンド近くに上る。これは英国のオープンエンド型商業用不動産ファンド全体の350億ポンド(460億米ドル)のうち、約3分の1に相当する。」(7月5日付英ロイター~URLは後述[参考ホームページ])とも報じられている。グローバルREITは米国REITを中心に7月6日にかけても堅調な中、英国REITは急反落しており、今後、日本のREITファンド人気に影響が出る可能性がある。尚、日本株は6月に+243億円と2カ月連続の純流入となった。2014年(1~12月)に-6000億円強の純流出、2015年(1~12月)は+2.2兆円弱の純流入(全31分類中2位)、そして、2016年上半期(1~6月)は+6650億円となっている。



純設定とパフォーマンスの関係はどうか？ 投信に使われることの多いベンチマークのパフォーマンス推移を見た所、下記の通り、1年のパフォーマンスの好い順に、国内債券、先進国債券(日本除く)円ヘッジあり、エマージング債券円ヘッジあり、J-REITとなっている(*グラフは1年前を10000としている、円換算、日次データ)。国内債券が最も好いが、国債利回りが15年前後までマイナス、国内債券インデックスの利回りがマイナスとなる中(URLは後述[参考ホームページ])、先進国債券(日本除く)円ヘッジありにも向かうのであろう。

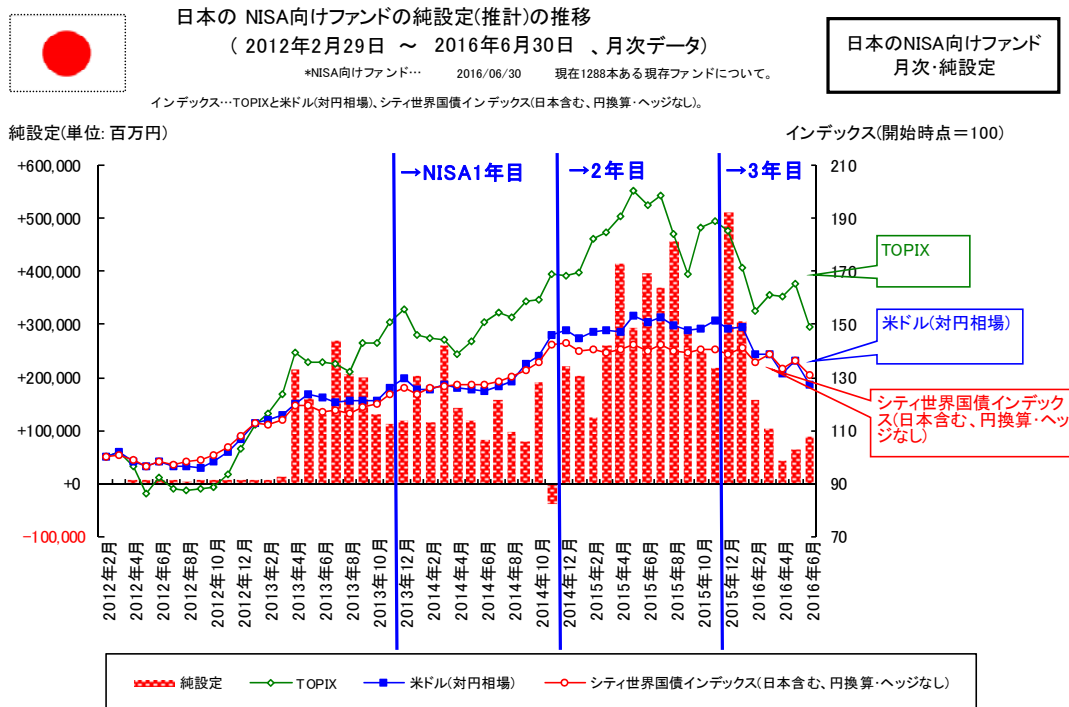


次頁グラフは以上の5年のパフォーマンスである。パフォーマンスの好い順に、先進国REIT、J-REIT、先進国株式、エマージング債円ヘッジなし、ハイイールド債円ヘッジなし、日本株式、先進国債券(日本除く)円ヘッジなし、先進国債券(日本除く)円ヘッジあり、日本債券、エマージング債券円ヘッジありとなっている(*グラフは5年前を10000としている、円換算、月末データ)。



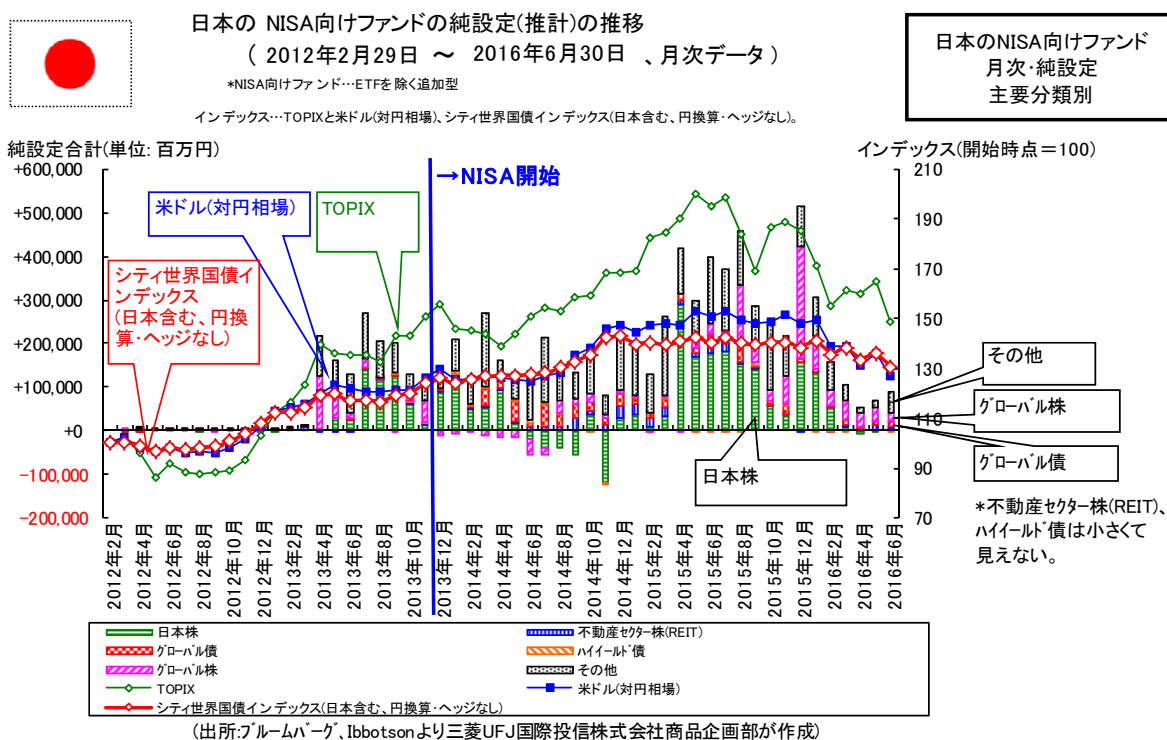
NISA 向けファンドはオルタナティブ(日本株ブル含む)やグローバル株が人気

次に新規投資家を示す NISA 向けファンドの純設定を見る。下記グラフの通り、最新 2016 年 6 月は+885 億円と、2014 年 11 月以来の小ささとなった 4 月から 2 カ月連続増加、19 カ月連続の資金純流入となった。



※2: 「NISA 向けファンド」…投資信託協会の言う「NISA 向けのファンド(*分配頻度が低いファンド、低コストのファンド、バランス型ファンド)」を参考にしながら(URL は後述[参考ホームページ])、2013年11月末時点の契約型公募投信純資産が1兆円以上ある投信会社17社(*全84社の約90%を占める)の株式投信(ETFを含む)で「NISA 向け」、「NISA 専用」、「NISA で選ぶ」、「NISA におすすめ」などと紹介されているファンド、それに加え、2013年4月以降に設定された分配頻度が低いファンドやバランス型ファンドとしている。尚、2013年4月以降と言うのは、NISA が含まれる税制改正(関連)法が2013年3月30日に成立・政省令公布されたため。また、単位型・限定追加型・年1~2回分配以外のファンド・DC・SMA・ミリオン(従業員積立投資プラン)を含めていない。ただ、同じシリーズが該当している場合は年1~2回以外を含めている。しかし、通貨選択型については、年1~2回以外を除いている(*マネー・プールは年1~2回でも除いている)。こうした「NISA 向けファンド」を抽出した所、2016年6月30日時点で1288本となった。

この新規投資家と思われる投信の2016年6月純設定を、投資対象(主要分類)別に見る。前述した既存投資家と思われる国内投信全体での主要分類を用いると、6月の純流入1位はマルチオルタナティブ(前月18位)、2位はグローバル株(同1位)、3位はその他オルタナティブ(同5位)、4位はグローバル債(同4位)、5位はアセットアロケーション柔軟型(同2位)、6位アジア株(同10位)となっている(オルタナティブ及びアセットアロケーション、アジア株は、次頁グラフで「その他」に含まれる)。2015年末頃から純設定を減らしてきた日本株は、わずかながら3カ月ぶりの純流入となった。3位の「その他オルタナティブ」だが、日本株ブルベアファンドのブルファンド中心に資金が流入している。



ネット証券での人気は日本株・グローバル株・REIT

最後に、各証券会社の集計結果も見る。2016年7月6日現在で、各社HP(口座保有者限定の閲覧サイトは除く)に公表されている最新NISA・投資信託動向だが、ランキングを掲載しているのはネット証券会社が多かった。ランキングの集計時期や方法は証券会社により異なるので、ここでは、ネット証券各社がHPで公表する最新の内容を紹介する。NISA口座における投資対象はどのようなものか傾向を見る参考としてほしい。個別ファンドなどの詳細はオリジナルのサイトを参照の事(URLは後述[参考ホームページ])。

<NISA 投資信託>

○マネックス証券は最新 2016 年 6 月の NISA 口座における月間売れ筋ファンド(販売額)のベスト 10 を発表しており、1・3 位は日本株ファンド、2 位はグローバル株ファンド、4・5 位は不動産セクター(REIT)ファンドとなっている。前月 5 月の 1 位はグローバル株ファンド、2・4 位は日本株ファンド、3・5 位は不動産セクター(REIT)ファンドだった。また週間の売れ筋ファンド(販売額)についても発表しており、最新週 6 月 27 日から 7 月 1 日までは、1・4 位はグローバル株ファンド、2・3 位は日本株ファンド、5 位は不動産セクター(REIT)ファンドとなっている。参考まで、一ヶ月前の 5 月 30 日から 6 月 3 日までは、1・3 位は不動産セクター(REIT)ファンド、2 位はグローバル株ファンド、4・5 位は日本株ファンドとなっている。

○最大手である SBI 証券は週間のランキングを発表しており、最新週 6 月 27 日から 7 月 1 日までの取引をもとにした NISA の投資信託・買付金額の 1・3 位は日本株ファンド、2 位はグローバル株ファンド、4 位はアセットアロケーションファンド、5 位は不動産セクター(REIT)ファンド。一ヶ月前の 5 月 30 日から 6 月 3 日までの取引をもとにした NISA の投資信託・買付金額の 1 位はグローバル株ファンド、2 位はアセットアロケーションファンド、3・5 位は日本株ファンド、4 位は不動産セクター(REIT)ファンドだった。

○楽天証券も週間ランキングを発表しており、6 月 27 日から 7 月 1 日までの NISA 投資信託・買付金額の 1・4・5 位は日本株ファンド、2 位はグローバル株ファンド、3 位は不動産セクター株(REIT)ファンド。一ヶ月程前の 5 月 30 日から 6 月 3 日までの NISA 投資信託・買付金額の 1・5 位は日本株ファンド、2~4 位は不動産セクター株(REIT)ファンドだった。

<ジュニア NISA 投資信託>

○SBI 証券は週間のランキングを発表しており、最新週 6 月 27 日から 7 月 1 日までの取引をもとにしたジュニア NISA の投資信託・買付金額の 1・5 位はグローバル株ファンド、2・4 位は日本株ファンド、3 位は不動産セクター株(REIT)ファンド。一ヶ月程前の 5 月 30 日から 6 月 3 日までの取引をもとにしたジュニア NISA の投資信託・買付金額の 1・2 位は不動産セクター株(REIT)ファンド、3・4 位はグローバル株ファンド、5 位は日本株ファンドだった。

<NISA 積立~2016 年 7 月 6 日現在で入手できる最新(公表データは限られており、集計の時期や対象は各社で異なるのであくまで参考まで)>

○マネックス証券では、2016 年 6 月の NISA 月間積立契約件数ランキングを出しており、1・2 位は日本株ファンド、3・4 位はグローバル株ファンド、5 位はアセットアロケーションファンドとなっている(*前月と順位は同じ。1・3・4 位はインデックスファンド)。

○楽天証券は積立設定件数ランキングを週間で発表しており、6 月 27 日から 7 月 1 日までの NISA 口座では、1・5 位はグローバル株ファンド、2・3 位は日本株ファンド、4 位は日本債ファンドとなっている(*1・2・4・5 位はインデックスファンド)。

ネット証券では、6月は前月5月に比べ日本株人気が上昇、新規投資家同様、日本株ブルファンドへの人気も見られた。既存投資家でランキング上位に見られた不動産セクター株(REIT)の人気は5月と比べやや減少、新規投資家で見られたグローバル株人気は継続である。

以上、NISAで何が買われたかについて既存投資家、新規投資家、ネット証券などの順で見えてきた。2016年6月は既存投資家でREIT人気は継続。新規投資家とネット証券ではグローバル株、この他、ネット証券では日本株、ネット証券の積立や新規投資家ではアセットアロケーションの人気も示されていた。

こうした情報が「ブレグジット/Brexit(英国のEU離脱)ショック」の中、個人投資家の参考になれば幸いである。

以上

[参考ホームページ]

2016年6月6日付日本経済新聞「REIT保有、信託銀が45%に 4証取調査、日銀の買い入れで上昇」…

「http://www.nikkei.com/my/#!/article/DGXLASFL06HU0_W6A600C100000/」、

2016年5月末のNOMURA-BP総合利回り…「http://qr.nomuraholdings.com/QR/index/BPI/NOMURA_BPI_M_J.html」、

2016年7月1日付日本経済新聞朝刊「英不動産投信が急落 金融街シティー空洞化懸念」…

「<http://www.nikkei.com/news/print-article/?R.FLG=0&bf=0&ng=DGXKZ004318280R00C16A7EA1000&uah=DF240620160348>」、

2016年7月5日付ロイター(ロンドン)「英不動産ファンドで解約停止相次ぐ、EU離脱決定で市況悪化懸念」…

「<http://jp.reuters.com/article/uk-property-fund-suspend-idJPKCN0ZL2Q5?sp=true>」、

2014年1月8日付投資信託協会メールマガジン「NISA向けのファンドって?」…「<http://www.toushin.or.jp/mailmag/>」、

SBI証券のNISAランキング・投資信託…「<https://www.sbisec.co.jp/>」、

楽天証券のNISAランキング・投資信託…「https://www.rakuten-sec.co.jp/NISA/#NISA_ranking」、

マネックス証券のNISA月間売れ筋ランキング・投資信託・販売金額…

「<https://fund.monex.co.jp/rankinglist#NISAMonthlySales>」。

本資料に関してご留意頂きたい事項

- 当資料は日本版ISA(少額投資非課税制度、愛称「NISA/ニーサ」)に関する考え方や情報提供を目的として、三菱UFJ国際投信が作成したものです。当資料は投資勧誘を目的とするものではありません。
- 当資料中の運用実績等に関するグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者の皆様の実質的な投資成果を示すものではありません。市況の変動等により、方針通りの運用が行われない場合もあります。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。
- 当資料に示す意見等は、特に断りのない限り当資料作成日現在の筆者の見解です。
- 投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- 投資信託は値動きのある有価証券を投資対象としているため、当該資産の価格変動や為替相場の変動等により基準価額は変動します。従って投資元本が保証されているわけではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。
- 投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。
- 投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- クローズド期間のある投資信託は、クローズド期間中は換金の請求を受け付けることができませんのでご注意ください。
- 投資信託は、ご購入時・保有時・ご換金時に手数料等の費用をご負担いただく場合があります。

本資料中で使用している指数について

- ・東証株価指数(TOPIX)に関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。
- ・シティ世界国債インデックスとは、Citigroup Index LLCにより開発、算出および公表されている、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。